

## 大悲殿の北向厄除観世音菩薩

2025年には開山1200年に当たるといふ古刹、

上田別所北向観音の内仏（伝、比叡山延暦寺座主慈覚大師円仁作）が天然寺に分佛され、平時は、宮殿のお厨子の中に奉安される秘仏となっております。

特に昭和の大戦後、社会の平和と人々の安寧を願って、数え7年ごとに御開扉法要が修められ、地域伝統の行事となっております。昭和から平成まで、浄土宗大本山善光寺大本願尼公上人の三代続いての御親修の下で執り行なわれてきました。

御開帳は、秘仏として大切にお護りしている北向厄除観世音像を、特別にお厨子を開いてお参り頂く一期一会の行事です。多くの皆さま方がこの勝縁に巡り合って、秘仏尊像のお姿に手を合わせ、厄難を祓い、所願成就のために一人ひとりの願いを込めてご参拝くださいます様ご案内申し上げます。



## 徳川家康公の念持仏、

### 千手観世音菩薩像

大河ドラマに登場する徳川家康公の念持仏と伝えられる、『千手観世音菩薩像』が秘仏観音の前立仏として、大悲殿北向観音堂に奉安されています。

天然寺に残る古文書（尊像受け證書と縁起巻物）によれば、江戸末期、東都浅草にあった徳川將軍家ゆかりの寺である、東照院貞源寺から遷座されたとあります。（現在は東京都中野区に移転。山号・榮廣山）

家康公から徳川菩提所の増上寺世観智国師へ、さらに貞源寺初代愚然和尚へと繋がれ、その貞源寺世正達和尚から願誓代に天然寺へとお迎えすることになった不思議の所縁でつながっている観音様です。



## 自塔山清寶院

### 天然寺

天然寺の開創は大同2年（807）と伝えられ、古くは真言宗でした。その後、縁嘗秀傳和尚が天正元年（1573）に西町地籍に堂宇を移し、宗旨を法然上人の浄土宗に改め、京都総本山知恩院の直末寺として、本尊阿彌陀如来三尊像が本堂に祀られております。

大悲殿（観音堂）には、二体の観音さまが祀られており、北信地方では靈験あらたかな厄除けの仏さま『木島北向厄除観音』の名称でも知られております。

